

学習指導要領		都立光丘高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めるなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして大方理解することができる。 ・50語程度の長さの事物に対する紹介や報告などを聞いて、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を大まかに捉えて、理解することができる。 ・対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を大まかに捉えて、理解することができる。 ・自然な速さで話された20秒程度の対話を聞き、概要や要点を捉えることができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解することができる。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を正しく使いながら、400～500語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら理解することができる。

学習指導要領		都立光丘高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・教科書などの 30 語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、論理展開を理解することができる。 ・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。 ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の大まかな流れを考えて読み進めることができる。 ・身近な情報（例えば交通機関の時刻表やレストランのメニューなど）が示されている図表を読み取ることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要となる基本的な文化的背景について理解する。 ・英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、概要を把握することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・400～500 語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、語句や文等で答えることができる。 ・教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手

学習指導要領		都立光丘高校 学カスタンダード
		<p>に伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 ・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさと話することができる。 ・日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 ・自分の意見や考えを単に述べるだけでなく、理由や例示を加えて話することができる。 ・図やグラフなどの資料を使って、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・聞き手を意識し、相手に分かりやすい表現を選んで話することができる。 ・他の生徒が話したことについて、感想を伝えることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解することができる。 ・ICT機器を使って図や資料などを示しながら、スピーチを行うことができる。 <p>既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について50～70語程度の文章を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	

学習指導要領	都立光丘高校 学カスタンダード
	<p>要約文を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに 50～70 語程度で書くことができる。 ・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を用いながら、文章を書くことができる。 ・身近な情報が示されている図表やデータについての説明を書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、既にもっている知識を駆使しながら、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。 ・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、相手が書いた文章についての感想を書くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解することができる。